

第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	3	のびやか・雄武	整理番号	42
基本施策	12	学校教育の充実	評価 責任者	教育振興課長 横田 和幸
単位施策	2	小中学校の教育環境の充実		

1 施策の概要

基本方針	北海道教育委員会と連携しながら、研修の充実などにより、教職員等の資質と指導力を向上させるとともに、学校施設・設備の計画的な改修や、廃校施設、余裕教室の有効活用を進めるとともに、地域ぐるみの学校安全対策を推進する。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	【現状】（平成23年度末）
	児童生徒の「生きる力」の育成のため、これまで教職員の資質向上等を目的に研修の推進を進めてきており、児童生徒が学ぶ学校施設の整備も計画的に進めてきている。	児童生徒の「生きる力」の育成のため、これまで教職員の資質向上等を目的に研修の推進を進めてきており、児童生徒が学ぶ学校施設の整備も計画的に進めてきている。
	【課題】（平成21年度末）	【課題】（平成23年度末）
	学校施設の老朽化に伴い、今後大規模な改修が必要とされるほか、周辺校の児童減少による学校の維持等に係る対応及び食育を含めた学校給食の充実を進めていく必要がある。	学校施設の老朽化に伴い、今後大規模な改修が必要とされるほか、周辺校の児童減少による学校の維持等に係る対応及び安心安全な給食の提供のため、学校給食衛生管理基準に基づいた学校給食センターの整備を検討していく必要がある。

2 基本施策指標

指標1	指標名	耐震構造になっている小中学校の割合						
	定義等	町内全小中学校の耐震化整備率						
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							100%
	実績値	50%	50%	100%	100%	100%		
指標2	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標3	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標4	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策 への貢献 度
①	山村留学推進事業	教育総務係	700	A	継続/現状維持	A
②	教育施設等管理委託業務	教育総務係	26,668	A	継続/現状維持	A
③	小中学校教育備品整備事業	教育総務係	6,042	A	継続/現状維持	A
④	各学校施設修理改修事業	教育総務係	2,204	A	継続/現状維持	A
⑤	生徒教育振興事業	教育総務係	1,836	A	継続/現状維持	A
⑥	学校図書整備事業	教育総務係	1,513	A	継続/現状維持	A
⑦	雄武町学校教育振興推進協議会補助事業	教育総務係	1,000	A	継続/現状維持	A
⑧	教職員教育振興事業	教育総務係	210	A	継続/現状維持	A
⑨	教育相談員配置事業	教育総務係	34	C	継続/現状維持	B
⑩	教委・学校間情報共有等ネットワーク整備事業	教育総務係	416	A	終了	A
⑪	学校環境整備事業	教育総務係	31,448	A	継続/現状維持	A
⑫	各学校給排水改修事業	教育総務係	0	A	継続/現状維持	A
⑬	共栄小学校開校100周年記念事業	教育総務係	800	A	終了	A
⑭	武道センター改修事業	教育総務係	5,103	A	終了	A
⑮	へき地小学校教員住宅水洗化改修事業	教育総務係	0	A	継続/拡充	A
⑯	教員住宅解体事業	教育総務係	5,355	A	終了	A
⑰	給食センター調理業務委託事業	学校給食係	13,734	A	継続/現状維持	A
⑱	学校給食センター施設整備事業	学校給食係	10,440	A	継続/現状維持	A

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	小中学校の教育環境の充実については、教職員の資質及び指導力向上のほか、教育拠点機関である学校及び学校給食センターに係る施設環境全般の向上を図るうえで重要な施策である。
② 有効性	A	小中学校及び学校給食センターに係る事業を講じたことにより、安心安全な環境が整備され、有効に施策の推進を図った。
③ 効率性	A	小中学校の教育環境の充実のため、国の各種交付金を活用するとともに、計画的な関係事業の進捗により、効率的な施策の推進を図った。
④ 公平性	A	義務教育の対象となる児童・生徒の全員に受益が及びることから、公平性は確保されている。
⑤ 町民意見の反映	A	小中学校の教育環境の充実については、学校評議員の配置及び学校給食センター運営委員会の開催等により、町民意見の反映を行っている。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直しすることが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
小中学校の教育環境の充実を図るため、関係事業を効果的に進めてきたところであり、安心安全な環境が整備されていることから、引き続き現行施策の推進を図ることが必要である。	同左	

今後の方向性

継続/拡充	継続/拡充	
教職員の資質と指導力向上については、現行施策を維持し、学校及び学校給食センターに係る施策については、施設の延命化等を進めていく必要があるため、施策の一部拡充を図っていくものとする。	同左	

*今後の方向性の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止